|  |  |
| --- | --- |
| **タイトル** | ほしい暮らしは自分でつくる　ぼくらのリノベーションまちづくり |
| **著者** | 嶋田　洋平 |
| **内容**  「ほしい暮らしは自分でつくる」を合言葉に、著者が続けてきた新しい街づくりの方法である。これからの日本に必要な街と、建物の使い方、そして、そこでの働き方やお金のもらい方、それらを生み出す方法を「リノベーションまちづくり」と呼んでいる  　著者が、故郷の北九州・小倉と現在の住まいであり、東京二十三区内で唯一の消滅可能性都市とされている豊島区・雑司ヶ谷を往復しながら、仲間や市民、自治体を巻き込んで実施してきたまちづくりの記録である。  　空き家をリノベーションするだけでなく、いかにそこに共通する目的意識と価値観をもとにしたコミュニティを広げていくことげ出来るかが重視されている。駅周辺の空き店舗、巨大商業施設への消費の一点集中、低価格と利便性重視の価値観、地域の高齢化と若年層の流出、地域衰退のプロセスなど新しい地域づくりの方法と価値観が書かれている。 | |